

外科専門研修プログラム

2022年度

東京女子医科大学病院

<プログラムの名称>

東京女子医科大学 外科専門研修プログラム

<外科専門医の理念と目的>

外科専門医とは、医の倫理を体得し、一定の修練を経て、診断、手術適応判断、手術及び術前後の管理・処置、合併症など、一般外科医療に関する標準的な知識とスキルを修得し、プロフェッショナルとしての態度を身に付けた医師である。また、規定の手術を経験し、一定の資格認定試験を経て認定される。外科専門医はサブスペシャリティ領域（消化器外科・心臓血管外科・呼吸器外科・小児外科・乳腺外科・内分泌外科）やそれに準じた外科関連領域の専門医取得に必要な基盤となる共通の資格である。この専門医の維持と更新には、最新の知識・テクニック・スキルを継続して、安全かつ信頼される医療を実施していることが必須条件となる。

そのため、外科医として幅広く一般診療を行う能力を育成し、基礎的知識や検査・画像診断、麻酔手技、周術期の全身管理の基礎を習得する。さらに、高度な知識や判断能力の育成をはかり、基礎的能力の習得が円滑に行われるよう、専攻医1人1人に合わせたプログラムを設定し、優れた臨床医の養成、将来の外科治療を牽引する医師としての養成を目的としている。また、感染対策、医療安全及び医療倫理の基礎能力の育成を行い、日常診療を通じて様々な状況に対応し、かつ適切な判断のもと、治療法の選択が行える基礎的能力を育成する。

上記を踏まえ、チーム医療の一員として治療方針の決定の一翼を担うことができること、及び、インフォームド・コンセントを通じて良好な患者・医師関係を築き、患者背景に配慮した安全な外科治療の提供ができることを目標とする。

<外科専門医の使命>

外科専門医は、標準的かつ包括的な外科医療を提供することにより国民の健康を保持し福祉に貢献する。また、外科領域診療に関わる最新の知識・テクニック・スキルを習得し、実践できる能力を養いつつ、この領域の学問的発展に貢献することを使命とする。

目 次

- 【1】 プログラム指導者と研修施設
- 【2】 専門研修プログラム管理委員会
- 【3】 外科専門医の使命と本プログラム修了後の医師像
- 【4】 外科専門研修の目標
 - 1. 一般目標
 - 2. 到達目標研修内容
 - 1. 経験症例
 - 2. 学術活動
 - 3. 臨床現場を離れた学習
 - 4. 自己学習
 - 5. 専門研修中の年度毎の知識・技能・態度の修練プロセス
- 【5】 専門研修プログラム具体例
- 【6】 研修期間
- 【7】 研修スケジュール
- 【8】 研修の週間および年間スケジュール
- 【9】 施設群による研修プログラムおよび地域医療について
- 【10】 研修評価・修了
- 【11】 研修修了認定
- 【12】 プログラム修了後の進路
- 【13】 専門医研修期間の猶予
- 【14】 専門研修実績記録システム、マニュアル等
- 【15】 専攻医募集および専攻方法
- 【16】 身分および待遇
- 【17】 資料請求先
- 【18】 診療科紹介
- 【19】 連携施設

【1】プログラム指導者と研修施設

東京女子医科大学病院と連携施設（39 施設）により、専門研修施設群を構成している。
本専門研修施設群では、135名の専門研修指導医が専攻医を指導する。

専門研修プログラム統括責任者

東京女子医科大学消化器・一般外科 本田 五郎

専門研修副プログラム統括責任者

東京女子医科大学心臓血管外科 新浪 博
東京女子医科大学呼吸器外科 神崎 正人
東京女子医科大学乳腺・内分泌外科 岡本 高宏

各領域責任者

消化器外科	本田 五郎	(東京女子医科大学 消化器・一般外科)
心臓血管外科	新浪 博	(東京女子医科大学 心臓血管外科)
呼吸器外科	神崎 正人	(東京女子医科大学 呼吸器外科)
小児外科	世川 修	(東京女子医科大学 小児外科)
乳腺外科、内分泌外科	岡本 高宏	(東京女子医科大学 乳腺・内分泌外科)
救命救急センター	矢口 有乃	(東京女子医科大学 救命救急センター)

専門研修指導医

江川裕人、板橋道朗、山口茂樹、井上雄志、有泉俊一、小寺由人、小川真平、大木岳志、樋口亮太、成宮孝祐、山下信吾、工藤健司、番場嘉子、植村修一郎、大目裕介、谷口清章、加藤孝章、新川武史、齋藤 聡、濱崎安純、菊地千鶴男、道本 智、齋藤博之、東隆、佐々木 英樹、森田耕三、池田昌弘、市原有起、宮本真喜、松本卓子、井坂珠子、青島宏枝、末吉 亮、牧 ゆかり、山口隆介、神尾孝子、堀内喜代美、尾身葉子、野口英一郎、名取恵子、吉田有策、武田宗和

【2】専門研修プログラム管理委員会

①基幹施設担当者

プログラム統括責任者	本田五郎
副プログラム統括責任者	新浪 博、神崎正人、岡本高宏
委員	世川 修、矢口有乃、江川裕人、板橋道朗、小寺由人、堀内喜代美、武田宗和、成宮孝祐、大木岳志、市原有起、青島宏枝、野口英一郎、末吉 亮

②専門研修連携施設

連携施設名	NCD按分数	連携施設責任者 及び担当者
	2019年	
(1) 東京女子医科大学東医療センター	100	塩澤 俊一
(2) 東京女子医科大学附属八千代医療センター	50	新井田 達雄、片桐 聡
(3) 愛媛県立中央病院	200	石戸谷 浩
(4) 医療法人財団荻窪病院	40	澤 重治
(5) 社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院	573	押富 隆
(6) 社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院 聖隷浜松病院	150	鈴木 一史
(7) 地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立中央病院	350	中島 雅人
(8) 医療法人社団武蔵野会 TMG あさか医療センター	564	藤田 竜一
(9) 医療法人社団常仁会牛久愛和総合病院	351	瀬下 明良、野口 岳春
(10) 大分市医師会立アルメイダ病院	409	白鳥 敏夫、橋本 拓造
(11) 一般社団法人至誠会第二病院	212	吉田 一成
(12) 社会医療法人三栄会中央林間病院	176	木山 智、河野 正寛
(13) 医療法人社団けいせい会東京北部病院	271	谷 英己
(14) 八王子消化器病院	394	小池 伸定
(15) 谷津保健病院	185	宮崎 正二郎
(16) 医療法人社団三喜会横浜新緑総合病院	435	齊藤 修治
(17) 公益財団法人東京都保健医療公社荏原病院	224	吉利 賢治
(18) 医療法人誠壽会上福岡総合病院	259	井上 達夫
(19) 公益財団法人東京都保健医療公社 多摩南部地域病院	140	桂川 秀雄
(20) 公益財団法人東京都保健医療公社豊島病院	269	福田 晃、安藤 昌之
(21) 社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院	214	比嘉 宇郎
(22) 防府消化器病センター防府胃腸病院	828	三浦 修
(23) 独立行政法人地域医療機能推進機構山梨病院	69	土屋 雅人
(24) 東京医科大学茨城医療センター	206	鈴木 修司
(25) 埼玉県済生会栗橋病院	350	宮野 裕
(26) 東京都立多摩総合医療センター	30	小原 徹也、吉川 拓磨
(27) 社会医療法人財団石心会埼玉石心会病院	170	児玉 ひとみ
(28) 熊本赤十字病院	232	吉元 和彦
(29) 独立行政法人地域医療機能推進機構 東京城東病院	147	阪井 守
(30) 医療法人社団栄悠会 綾瀬循環器病院	429	丁 毅文
(31) 公益財団法人東京都保健医療公社 多摩北部医療センター	324	高橋 豊
(32) 一般財団法人 宮城県成人病予防協会 仙台循環器病センター	118	椎川 彰
(33) 医療法人財団松園会 東葛クリニック病院	1484	内野 敬
(34) 医療法人社団公仁会 大和成和病院	623	田畑 美弥子
(35) 特定医療法人財団竹政会 福山循環器病院	190	森元 博信
(36) 地方独立行政法人 岐阜県総合医療センター	238	岩田 祐輔
(37) さいたま市立病院	110	島村 吉衛
(38) 長野県立こども病院	138	高見澤 滋
(39) 宇治徳州会病院	168	小林 豊

専門研修基幹施設

東京女子医科大学病院	2019年NCD登録数（ 3,722 ）
専門研修連携施設	2019年NCD登録数（ 11,420 ）
本専門研修施設群	2019年NCD登録数の合計（ 15,142 ）
本年度の募集専攻医数	<u>20名</u>

③研修プログラム管理委員会の役割と権限

- (1) 当管理委員会は、専門研修プログラム統括責任者、専門研修副プログラム統括責任者および、各診療科専門研修指導医、専門研修プログラム連携施設担当者等で構成される。
- (2) 専門研修プログラムの作成、管理、改善などを行う。
- (3) 専攻医の研修全般の管理を行う。
- (4) 専門研修プログラム修了時に専攻医の修了判定の審査を行い、専門研修プログラム統括責任者が修了判定を行う。
- (5) 専攻医および専門研修指導医から提出される意見を参照し、専門研修プログラムや専門研修体制の継続的改良を行う。
- (6) 6か月～1年毎に開催する。
- (7) 研修プログラム統括責任者は専攻医から提出されたプログラム評価報告内容を匿名化し、本委員会で審議を行いプログラムの改善を行う。
- (8) 専攻医からの指導医評価報告をもとに指導医の教育能力を向上させる支援を行う。

【3】外科専門医の使命と本プログラム修了後の医師像

- (1) 医の倫理を体得し、医療を適正に実践する
- (2) 一般外科医療に関する標準的な知識と技量を修得し、診断、手術および術前後の管理処置を適切に施行する
- (3) 外科専門医研修後も最新の知識・技術を継続して学習し、信頼される医療を実践する
- (4) サブスペシャリティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科・内分泌外科など）の専門研修を行うために必要な知識、技術、人格を有する
- (5) 臨床研究または学術的研究を発信し、後進の教育的指導ができる

【4】外科専門研修の目標

1. 一般目標

- (1) 一般外科的な臨床判断能力や問題解決能力を修得する
- (2) 中・低難度手術を適切に実施できる能力を修得する
- (3) 術前術後管理を適切に行う能力を修得する
- (4) 医の倫理に配慮し、外科診療を行う上で適切な態度と習慣を身に付ける
- (5) 外科学の進歩に合わせた生涯学習を行う基本的な能力を修得する
- (6) 地域医療の特殊性、問題点を認識する

2. 到達目標

- (1) 外科診療に必要な基礎的知識を習熟し、臨床応用できる（研修医手帳を参照）

- (2) 外科診療に必要な検査・処置・麻酔手技に習熟し、臨床応用できる
- (3) 外科診療に必要な疾患を経験・理解できる
- (4) 外科診療に必要な各領域の手術を経験する
- (5) 地域医療への外科診療の役割を習熟し、実行できる
- (6) 外科学の進歩に合わせた生涯学習の基本を習得し実行できる
- (7) 医の倫理や医療安全に基づいたプロフェッショナルとして適切な態度・習慣を身に付ける

<研修内容>

1. 経験症例

(1) 外科専門医カリキュラムの症例を経験する

①到達目標（修得すべき知識・技術・態度など）

i 専門知識

外科診療に必要な下記の基礎的知識・病態を習熟し、臨床応用できる。(研修手帳参照)

- (1) 局所解剖：手術をはじめとする外科診療上で必要な局所解剖について述べることができる。
- (2) 病理学：外科病理学の基礎を理解している。
- (3) 腫瘍学
 - ①発癌過程、転移形成およびTNM 分類について述べるができる。
 - ②手術、化学療法および放射線療法を含む集学的治療の適応を述べるができる。
 - ③化学療法（抗腫瘍薬、分子標的薬など）と放射線療法の有害事象について理解している。
- (4) 病態生理
 - ①周術期管理や集中治療などに必要な病態生理を理解している。
 - ②手術侵襲の大きさと手術のリスクを判断することができる。
- (5) 輸液・輸血：周術期・外傷患者に対する輸液・輸血について述べるができる。
- (6) 血液凝固と線溶現象
 - ①出血傾向を鑑別し、リスクを評価することができる。
 - ②血栓症の予防、診断および治療の方法について述べるができる。
- (7) 栄養・代謝学
 - ①病態や疾患に応じた必要熱量を計算し、適切な経腸、経静脈栄養剤の投与、管理について述べるができる。
 - ②外傷、手術などの侵襲に対する生体反応と代謝の変化を理解できる。
- (8) 感染症
 - ①臓器特有、あるいは疾病特有の細菌の知識を持ち、抗菌薬を適切に選択することができる。
 - ②術後発熱の鑑別診断ができる。
 - ③抗菌薬による有害事象を理解できる。
 - ④破傷風トキソイドと破傷風免疫ヒトグロブリン投与の適応を述べるができる。
- (9) 免疫学
 - ①アナフィラキシーショックを理解できる。
 - ②組織適合と拒絶反応について述べるができる。
- (10) 創傷治癒：創傷治癒の基本を理解し、適切な創傷処置を実践することができる。
- (11) 周術期の管理：病態別の検査計画、治療計画を立てることができる。
- (12) 麻酔科学
 - ①局所・浸潤麻酔の原理と局所麻酔薬の極量を述べるができる。
 - ②脊椎麻酔の原理を述べるができる。
 - ③気管挿管による全身麻酔の原理を述べるができる。
 - ④硬膜外麻酔の原理を述べるができる。

(13) 集中治療

- ①集中治療について述べることができる。
- ②基本的な人工呼吸管理について述べることができる。
- ③播種性血管内凝固症候群(disseminated intravascular coagulation)と多臓器不全(multiple organ failure)の病態を理解し、適切な診断・治療を行うことができる。

(14) 救命・救急医療

- ①蘇生術について理解し、実践することができる。
- ②ショックを理解し、初療を実践することができる。
- ③重度外傷の病態を理解し、初療を実践することができる。
- ④重度熱傷の病態を理解し、初療を実践することができる。

ii 専門技能(診察、検査、診断、処置、手術など)

A. 外科診療に必要な検査・処置・麻酔手技に習熟し、それらの臨床応用ができる。

(到達目標2)

(1) 下記の検査手技ができる。

- ①超音波検査：自身で実施し、病態を診断できる。
- ②エックス線単純撮影、CT、MRI：適応を決定し、読影することができる。
- ③上・下部消化管造影、血管造影等：適応を決定し、読影することができる。
- ④内視鏡検査：上・下部消化管内視鏡検査、気管支内視鏡検査、術中胆道鏡検査、ERCP等の必要性を判断し、読影することができる。
- ⑤心臓カテーテル：必要性を判断することができる。
- ⑥呼吸機能検査の適応を決定し、結果を解釈できる。

(2) 周術期管理ができる。

- ①術後疼痛管理の重要性を理解し、これを行うことができる。
- ②周術期の補正輸液と維持療法を行うことができる。
- ③輸血量を決定し、成分輸血を含め適切に施行できる。
- ④出血傾向に対処できる。
- ⑤血栓症の治療について述べることができる。
- ⑥経腸栄養の投与と管理ができる。
- ⑦抗菌薬の適正な使用ができる。
- ⑧抗菌薬の有害事象に対処できる。
- ⑨デブリードマン、切開およびドレナージを適切にできる。

(3) 次の麻酔手技を安全に行うことができる。

- ①局所・浸潤麻酔
- ②脊椎麻酔
- ③硬膜外麻酔(望ましい)
- ④気管挿管による全身麻酔

(4) 外傷の診断・治療ができる。

- ①すべての専門領域で、外傷の初期治療ができる。
- ②多発外傷における治療の優先度を判断し、トリアージを行うことができる。
- ③緊急手術の適応を判断し、それに対処することができる。

(5) 以下の手技を含む外科的クリティカルケアができる。

- ①心肺蘇生法—一次救命処置(Basic Life Support)、二次救命処置(Advanced Life Support)
- ②動脈穿刺
- ③中心静脈カテーテルの挿入とそれによる循環管理
- ④人工呼吸器による呼吸管理
- ⑤気管支鏡による気道管理

- ⑥熱傷初期輸液療法
 - ⑦気管切開、輪状甲状軟骨切開
 - ⑧心嚢穿刺
 - ⑨胸腔ドレナージ
 - ⑩ショックの診断と原因別治療（輸液、輸血、成分輸血、薬物療法を含む）
 - ⑪播種性血管内凝固症候群(disseminated intravascular coagulation)、多臓器不全(multiple organ failure)、全身性炎症反応症候群(systemic inflammatory response syndrome)、代償性抗炎症性反応症候群(compensatory anti-inflammatory response syndrome)の診断と治療
 - ⑫化学療法（抗腫瘍薬、分子標的薬など）と放射線療法の有害事象に対処することができる。
- (6) 外科系サブスペシャリティまたはそれに準ずる外科関連領域の分野の初期治療ができ、かつ、専門医への転送の必要性を判断することができる。
- B. 一定レベルの手術を適切に実施できる能力を修得し、その臨床応用ができる。(経験目標2)
一般外科に包含される下記領域の手術を実施することができる。
- (手術手技一覧対応表参照)

- ①消化管および腹部内臓
- ②乳腺
- ③呼吸器
- ④心臓・大血管
- ⑤末梢血管（頭蓋内血管を除く）
- ⑥ 頭頸部・体表・内分泌外科（皮膚、軟部組織、顔面、唾液腺、甲状腺、上皮小体、性腺、副腎など）
- ⑦小児外科
- ⑧外傷の修練
- ⑨上記①～⑧の各分野における内視鏡手術（腹腔鏡・胸腔鏡を含む）

iii 学問的姿勢

外科学の進歩に合わせた生涯学習の基本を習得し実行できる。

- (1) カンファレンス、その他の学術集会に出席し、積極的に討論に参加することができる。
- (2) 専門の学術出版物や研究発表に接し、批判的吟味をすることができる。
- (3) 学術集会や学術出版物に、症例報告や臨床研究の結果を発表することができる。
- (4) 学術研究の目的または直面している症例の問題解決のため、資料の収集や文献検索を独力で行うことができる。

iv 医師としての倫理性、社会性など

外科診療を行う上で、医師としての倫理や医療安全に基づいたプロフェッショナルとして適切な態度と習慣を身に付ける。

- (1) 医療行為に関する法律を理解し、遵守できる。
- (2) 患者およびその家族と良好な信頼関係を築くことができるよう、コミュニケーション能力と協調による連携能力を身につける。
- (3) 外科診療における適切なインフォームド・コンセントをえることができる。
- (4) 関連する医療従事者と協調・協力してチーム医療を実践することができる。
- (5) ターミナルケアを適切に行うことができる。
- (6) インシデント・アクシデントが生じた際、的確に処置ができ、患者に説明することができる。
- (7) 初期臨床研修医や学生などに、外科診療の指導をすることができる。
- (8) すべての医療行為、患者に行った説明など治療の経過を书面化し、管理することができる。
- (9) 診断書・証明書などの書類を作成、管理することができる。

②経験目標（種類、内容、経験数、要求レベル、学習法および評価法）

i 経験すべき疾患・病態

外科診療に必要な下記の疾患を経験または理解する。（研修手帳参照）

(1) 消化管および腹部内臓

①食道疾患：

- 1) 食道癌
- 2) 胃食道逆流症（食道裂孔ヘルニアを含む）
- 3) 食道アカシア
- 4) 特発性食道破裂

②胃・十二指腸疾患：

- 1) 胃十二指腸潰瘍（穿孔を含む）
- 2) 胃癌
- 3) その他の胃腫瘍（GISTなど）
- 4) 十二指腸癌

③小腸・結腸疾患

- 1) 結腸癌
- 2) 腸閉塞
- 3) 難治性炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病、腸管ベーチェット病など）
- 4) 憩室炎・虫垂炎

④直腸・肛門疾患

- 1) 直腸癌
- 2) 肛門疾患（内痔核・外痔核、痔瘻）

⑤肝臓疾患

- 1) 肝細胞癌
- 2) 肝内胆管癌
- 3) 転移性肝腫瘍

⑥胆道疾患

- 1) 胆道癌（胆嚢癌、胆管癌、乳頭部癌）
- 2) 胆石症（胆嚢結石症、総胆管結石症、胆嚢ポリープ）
- 3) 胆道系感染症

⑦膵臓疾患

- 1) 膵癌
- 2) 膵管内乳頭状粘液性腫瘍、粘液性嚢胞腫瘍
- 3) その他の膵腫瘍（膵内分泌腫瘍など）
- 4) 膵炎（慢性膵炎、急性膵炎）

⑧脾臓疾患

- 1) 脾機能亢進症
- 2) 食道・胃静脈瘤

⑨その他

- 1) ヘルニア（鼠径ヘルニア、大腿ヘルニア）
- 2) 腸間膜虚血性疾患（塞栓、血栓、NOMI）

(2) 乳腺

①乳腺疾患

- 1) 乳癌

(3) 呼吸器

①肺疾患

- 1) 原発性肺腫瘍
- 2) 転移性肺腫瘍
- 3) 先天性肺疾患
- 4) 炎症性肺疾患

②縦隔疾患

- 1) 縦隔腫瘍
- 2) 頸胸境界領域疾患

③胸壁・胸膜疾患

- 1) 気胸
- 2) 膿胸
- 3) 胸壁・胸膜腫瘍

④気道系疾患

- 1) 気道異物・閉塞
- 2) 気道系腫瘍

(4) 心臓・大血管

①後天性心疾患

- 1) 虚血性心疾患
- 2) 弁膜症

②先天性心疾患

③大動脈疾患

- 1) 動脈瘤（胸部大動脈瘤、腹部大動脈瘤、解離性大動脈瘤）

(5) 末梢血管（頭蓋内血管を除く）

- 1) 閉塞性動脈硬化症 2) 下肢静脈瘤
- (6) 頭頸部・体表・内分泌外科（皮膚、軟部組織、顔面、唾液腺、甲状腺、上皮小体、性腺、副腎など）
 - 1) 甲状腺癌 2) 体表腫瘍
- (7) 小児外科
 - 1) ヘルニア（鼠径ヘルニア、臍ヘルニアなど） 2) 陰嚢水腫、停留精巣、包茎
 - 3) 腸重積症 4) 虫垂炎
- (8) 外傷

ii 経験すべき診察・検査等

外科診察に必要な下記の検査・診察（管理）を経験する。

- (1) 下記の検査手技ができる。
 - ①超音波検査：自身で実施し、病態を診断できる。
 - ②エックス線単純撮影、CT、MRI：適応を決定し、読影することができる。
 - ③上・下部消化管造影、血管造影等：適応を決定し、読影することができる。
 - ④内視鏡検査：上・下部消化管内視鏡検査、気管支内視鏡検査、術中胆道鏡検査、ERCP等の必要性を判断し、読影することができる。
 - ⑤心臓カテーテル：必要性を判断することができる。
 - ⑥呼吸機能検査の適応を決定し、結果を解釈できる。
- (2) 周術期管理ができる。
 - ①術後疼痛管理の重要性を理解し、これを行うことができる。
 - ②周術期の補正輸液と維持療法を行うことができる。
 - ③輸血量を決定し、成分輸血を含め適切に施行できる。
 - ④出血傾向に対処できる。
 - ⑤血栓症の治療について述べることができる。
 - ⑥経腸栄養の投与と管理ができる。
 - ⑦抗菌薬の適正な使用ができる。
 - ⑧抗菌薬の有害事象に対処できる。
 - ⑨デブリードマン、切開およびドレナージを適切にできる。
- (3) 次の麻酔手技を安全に行うことができる。
 - ①局所・浸潤麻酔
 - ②脊椎麻酔
 - ③硬膜外麻酔（望ましい）
 - ④気管挿管による全身麻酔
- (4) 外傷の診断・治療ができる。
 - ①すべての専門領域の外傷の初期治療ができる。
 - ②多発外傷における治療の優先度を判断し、トリアージを行うことができる。
 - ③緊急手術の適応を判断し、それに対処することができる。
- (5) 以下の手技を含む外科的クリティカルケアができる。
 - ①心肺蘇生法—一次救命処置(Basic Life Support)、二次救命処置(Advanced Life Support)
 - ②動脈穿刺
 - ③中心静脈カテーテルの挿入とそれによる循環管理
 - ④人工呼吸器による呼吸管理
 - ⑤気管支鏡による気道管理
 - ⑥熱傷初期輸液療法
 - ⑦気管切開，輪状甲状軟骨切開
 - ⑧心嚢穿刺
 - ⑨胸腔ドレナージ
 - ⑩ショックの診断と原因別治療（輸液、輸血、成分輸血、薬物療法を含む）
 - ⑪播種性血管内凝固症候群(disseminated intravascular coagulation)，多臓器不全(multiple organ failure)、全身性炎症反応症候群(systemic inflammatory response)

syndrome)、代償性抗炎症性反応症候群(compensatory anti-inflammatory response syndrome)の診断と治療

⑫化学療法(抗腫瘍薬、分子標的薬など)と放射線療法の有害事象に対処することができる

- (2) 350例の手術手技を経験する(NCDに登録されていることが必須)
(3) ②のうち、術者として120例以上を経験する(NCDに登録されていることが必須)
(4) 各領域の基本的な手術手技を経験する ※ ()内は最低症例数

①消化管及び腹部内蔵(50例)

②乳腺(10例)

③呼吸器(10例)

④心臓・大血管(10例)

⑤末梢血管(頭蓋内血管を除く)(10例)

⑥頭頸部・体表・内分泌外科(皮膚、軟部組織、顔面、唾液腺、甲状腺、上皮小体、性腺、副腎など)(10例)

⑦小児外科(10例)

⑧外傷の修練(10点)*

⑨上記、①～⑦の各分野における内視鏡手術(腹腔鏡・鏡腔鏡を含む)(10例)

※初期臨床研修期間中に外科専門研修基幹施設ないし連携施設で経験した症例(NCDに登録されていることが必須)は、研修プログラム統括責任者が承認した症例に限定して、手術症例数に加算できる。

※術者として独立して実施できる一定数は設定しない。

* 体幹(胸腹部)臓器損傷手術 3点(術者)、2点(助手)

・上記以外の外傷手術(NCDの規定に準拠)・・・1点

・日本外科学会外傷講習会受講・・・・・・・・・・1点

・日本外傷診療研究機構 e-learning 受講・・・・・・・・2点

・外傷初期診療研修コース(JATEC)受講(日本外傷診療研究機構)・・・・4点

・動物もしくは遺体を用いた外傷研修コース・・・・4点

○ATOM(Advanced Trauma Operative Management)コース

○DSTC™(Definitive Surgical Trauma Care)コース

○ASSET(Advanced Surgical Skills for Exposure in Trauma)

・外傷外科手術指南塾受講(日本 Acute Care Surgery 学会主催講習会)・・・3点

・日本腹部救急医学会認定医制度セミナー受講・・・・1点

・日本 Acute Care Surgery 学会外傷教育セミナー・・・・1点

・日本外傷学会外傷教育セミナー受講・・・・・・・・・・1点

- (5) 地域医療の経験(病診・病病連携、地域包括ケア、在宅医療)

地域医療への外科診療の役割を習熟し、実行できる。

①連携施設(または基幹施設)において地域医療を経験し、病診連携・病病連携を理解し実践する。

②地域で進展している高齢化または都市部での高齢者急増に向けた地域包括ケアシステムを理解し、介護と連携して外科診療を実践する。

③在宅医療を理解し、終末期を含めた在宅療法を希望する患者に病診または病病連携を通して在宅医療を実践する。

2. 学術活動

(1) 指定の学術集会または学術刊行物に、筆頭者として研究発表あるいは論文発表*をする

(2) 日本外科学会定期学術集会に1回以上参加する

(3) 臨床研修また学術研究に参加し、医の倫理と後進の教育指導ができる'Academic surgeon'を目指すのに必要な基礎的知識、スキルおよび志を修得する。

* 学術発表における必要な業績（筆頭者）は下記の合計20単位を必要とする

研究発表	
(1) 日本外科学会定期学術集会	20 単位
(2) 海外の学会（例：American Society of Clinical Oncology など）	20 単位
(3) 外科系（サブスペシャルティ）の学会の年次総会、定期学術集会 （例：日本消化器外科学会、日本胸部外科学会、日本呼吸器外科学会、日本小児外科学会など）	15 単位
(4) 全国規模の外科系（サブスペシャルティ）以外の学会の年次総会、定期学術集会 （例：日本消化器病学会、日本内視鏡外科学会、日本救急医学会、日本癌学会など）	10 単位
(5) 外科系（サブスペシャルティ）の学会の地方会、支部会（例：研究発表(3)参照）	7 単位
(6) 各地区外科集談会（例：外科集談会、大阪外科集談会、九州外科学会、山陰外科集談会など）	7 単位
(7) 全国規模の研究会（例：大腸癌研究会、日本肝移植研究会、日本ヘルニア研究会など）	7 単位
(8) 地区単位の学術集会、研究会（例：北海道医学大会、四国内視鏡外科研究会、九州内分分泌学会など）	5 単位
(9) 全国規模の外科系（サブスペシャルティ）以外の学会の地方会、支部会 （例：研究発表(4)参照）	3 単位
(10) その他	3 単位
論文発表	
(1) 日本外科学会雑誌、Surgery Today	20 単位
(2) 英文による雑誌（例：Journal of clinical oncology, Annals of Surgery など）	20 単位
(3) 著作による書籍	20 単位
(4) 外科系（サブスペシャルティ）の学会の和文雑誌（例：研究発表(3)参照）	15 単位
(5) 全国規模の外科系（サブスペシャルティ）以外の学会の和文雑誌（例：研究発表(4)参照）	10 単位
(6) 編纂された書籍の一部	10 単位
(7) その他	7 単位
(8) 論文査読：Surgery Today および Surgical Case Reports 投稿論文査読 1 編につき 5 単位（単位は仮）	

3. 臨床現場を離れた学習

臨床現場以外でも知識やスキル獲得のため学会やセミナーに参加する。セミナーには学会主催または専門研修施設群主催の教育研修（医療安全、感染対策、医療倫理、救急など）、臨床研究・臨床試験の講習（eラーニングなど）、外科学の最新情報に関する講習や大動物（ブタ）を用いたトレーニング研修が含まれる。医療安全講習会、感染対策講習会、医療倫理講習会の受講はそれぞれ1単位合計3単位を必須とする。（1回の講習は1時間とし、1時間の講習受講をもって1単位と算定）

4. 自己学習

自己学習は、生涯学習の観点から重要である。外科領域は広範囲にわたるため、研修施設での臨床修練だけでなく書籍や論文などを通読して幅広く学習する。さらに日本外科学会が作成しているビデオライブラリーや日本消化器外科学会が用意している教育講座（eラーニング）、各研修施設群などで作成した教材などを利用して深く学習する。

5. 専門研修中の年度毎の知識・技能・態度の修練プロセス

各専門研修プログラムで年度次ごとの研修目標と修練内容を設定し、個々の専攻医に合わせた研修計画を示して、年度毎の修練プロセスを明示する。また、年度毎に到達度の自己評価および指導評価を受け、付属分については次年度での研修を行う。

専門研修1年目

知識：外科診療に必要な基礎的知識・病態を習得す。

技能：外科診療に必要な検査・処置・手術（助手）・麻酔手技・術前術後のマネージメントを習得する。外傷領域、消化管および腹部内臓領域、乳腺領域、小児外科領域、およびそれぞれ領域の内視鏡外科の研修

態度：医の倫理や医療安全に関する基盤の知識を持ち、指導医とともに患者中心の医療を行う
■希望診療科Aに所属し、消化器・一般外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺・内分泌外科、腎臓外科、（麻酔科、救命救急）の研修を行う＜経験症例150例、術者30例＞

専門研修2年目

知識：専門研修2年間で専門知識、専門技能、経験症例の知識を習得する。

技能：専門研修1年目の研修事項を確実にこなせることを踏まえ、不足した領域の症例経験と低難度手術から術者としての基本的スキル修得を目指す。外傷領域、呼吸器領域、心臓・大血管、末梢血管領域、頭頸部・体表・内分泌外科領域、およびそれぞれ領域の内視鏡外科の研修

学問：経験した症例の学会発表を行う基本的能力を身に付ける。

態度：医の倫理や医療安全を習得し、プロフェッショナルリズムに基づく医療を実践できる。
■消化器・一般外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺・内分泌外科、腎臓外科（麻酔科、救命救急）、または連携施設の研修を行う＜経験症例200例、術者60例＞

専門研修3年目

知識：サブスペシャリティまたはそれに準じた外科関連領域の基盤となる外科領域全般の専門知識、専門技能、経験症例の知識を習得する。

技能：専門研修2年間で修得できなかった領域の修得を目指す。専門研修2年間の研修事項を確実にこなせることを踏まえ、より高度な技術を要するサブスペシャリティ（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、内分泌外科）またはそれに準じた外科関連領域の研修を進める。

学問：学会発表・論文執筆の基本的知識を身に付ける。

態度：倫理感に根ざした患者中心の安全な医療を実践し、研修医や学生などのロールモデルとなる。

■消化器・一般外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺・内分泌外科、（麻酔科、救命救急）、連携施設で外科研修を行う。＜経験症例200例、術者60例＞

ただし不足症例に関しては、各領域に特化した施設及び本学をローテートし到達度の達成を目指す。また、3年間を通して学術発表20単位以上を目指す。

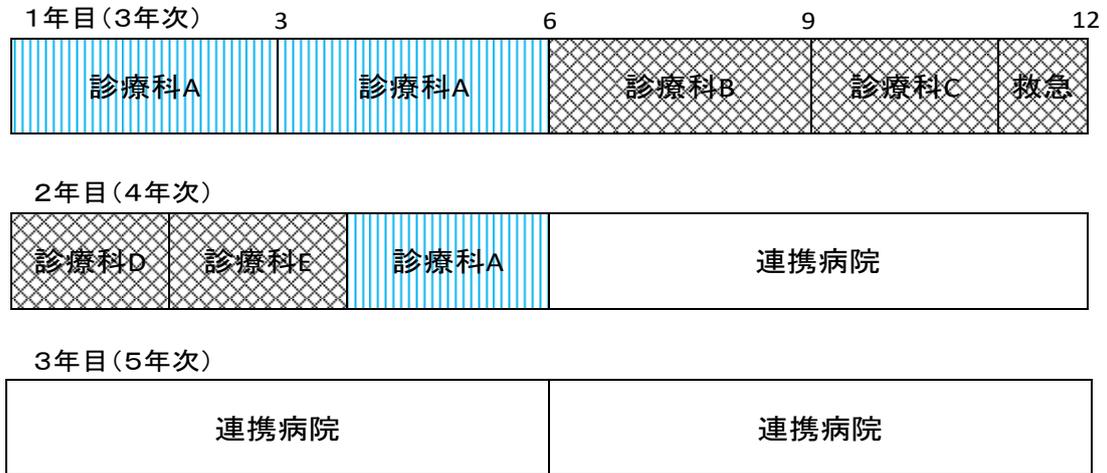
〔5〕専門研修プログラム具体例

本大学外科専門研修プログラムパターンを下記に示す。

基本

■ 外科研修プログラムの一例

- 所属希望診療科
- 所属大学ローテーション
- 連携施設



パターン①

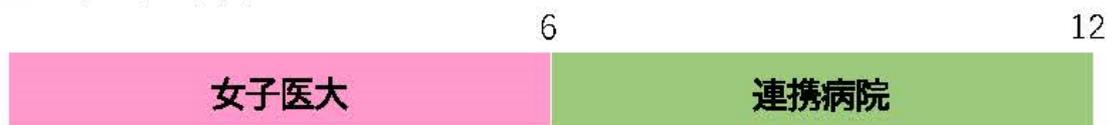
● 1年目(3年次)



● 2年目(4年次)

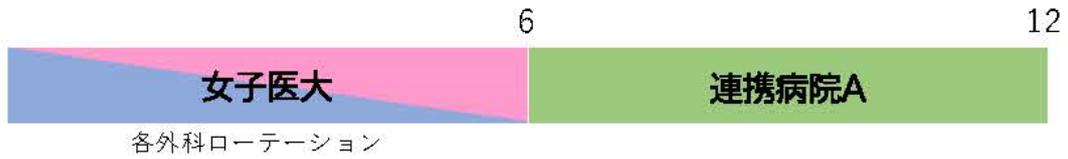


● 3年目(5年次)



パターン②

● 1年目(3年次)

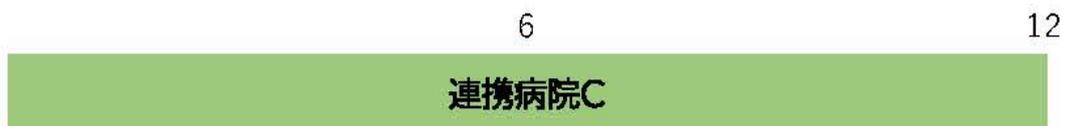


● 2年目(4年次)

連携病院での各外科ローテーションも可

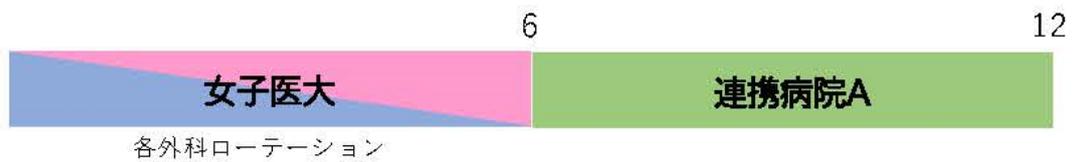


● 3年目(5年次)



パターン③

● 1年目(3年次)



● 2年目(4年次)

連携病院での各外科ローテーションも可



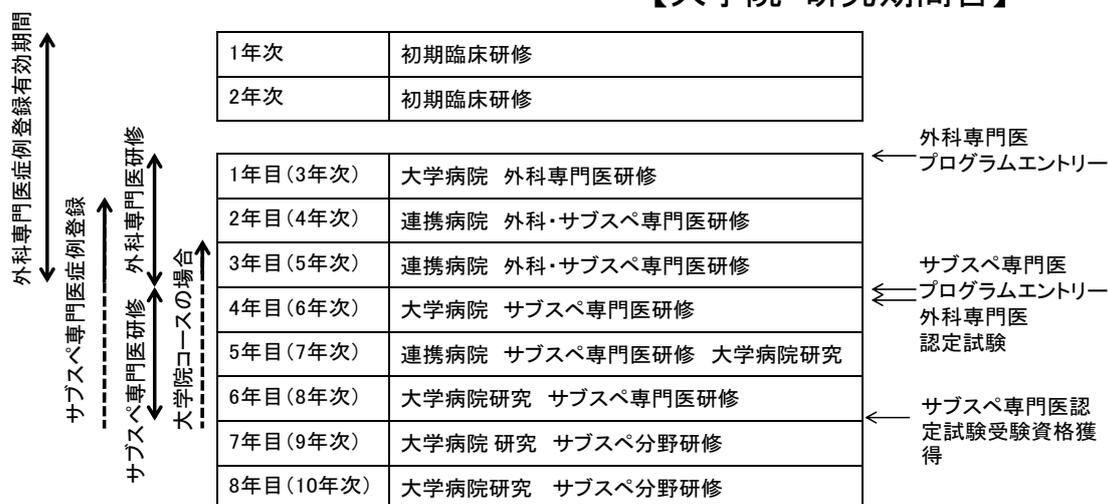
● 3年目(5年次)



※ローテーションは診療科と本人と相談の上で柔軟に対応可能。

■ 初期からサブスペシャリティ研修の一例

【大学院・研究期間含】



- ・5年間の研修で6年次に外科専門医を取得
- ・外科専門医研修期間中にサブスペ専門医研修へのエントリーを決定
- ・7年間の研修で(8年次に)サブスペ専門医受験資格獲得を目指す
- ・大学院コース(4年間)は基本3年目より開始。症例数によって外科専門医研修期間(通常3年間)を延期する場合あり

【6】研修期間

専攻医の研修期間は初期臨床研修修了後3年(以上)とする。

【7】研修スケジュール

※初期臨床研修修了時の到達度をチェックした上で、1年目に麻酔科、救命救急の研修を行う場合がある。

1年次	東京女子医科大学病院	消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、内分泌外科、外科、(麻酔科、救命救急)
2年次	東京女子医科大学病院/連携施設	研修進捗により年次初めからの連携施設研修可能である
3年次	東京女子医科大学病院/連携施設	不足症例に関して各領域をローテート

【消化器・一般外科連動型の概要】

4年次	東京女子医科大学病院消化器外科	消化管外科/肝胆膵外科/移植外科
5年次	連携施設 東京女子医科大学病院消化器外科	消化器外科専門医症例を経験する サブスペシャリティ外科専属

【心臓血管外科連動型の概要】

4年次	連携施設 東京女子医科大学病院心臓血管外科	成人心臓血管外科/小児心臓血管外科/補助心臓班ローテーション/連携施設ローテーション
5年次	連携施設 東京女子医科大学病院心臓血管外科	成人心臓血管外科/小児心臓血管外科/補助心臓班ローテーション/連携施設ローテーション

【呼吸器外科連動型の概要】

4年次	東京女子医科大学病院呼吸器外科	呼吸器外科全般
5年次	連携施設 東京女子医科大学病院呼吸器外科	呼吸器外科専門医症例の経験 サブスペシャリティ外科専属

【小児外科連動型の概要】

4年次	東京女子医科大学病院小児外科 連携施設	日本小児外科学会認定施設または教育関連施設で、小児外科専門医症例を経験する
5年次	東京女子医科大学病院小児外科 連携施設	日本小児外科学会認定施設または教育関連施設で、小児外科専門医症例を経験する

【乳腺外科連動型の概要】

専攻医 1,2,3 年次とも、乳癌学会認定施設あるいは認定関連施設での研修が必須。

4年次	東京女子医科大学病院乳腺内分泌外科	乳腺外科専属、乳腺認定医症例を経験、学位研究開始、外科専門医取得
5年次	東京女子医科大学病院乳腺内分泌外科	乳腺外科専属、乳腺専門医症例を経験、乳腺認定医取得

【内分泌外科連動型の概要】

4年次	東京女子医科大学病院乳腺内分泌外科	内分泌外科の研修
5年次	連携施設 東京女子医科大学病院乳腺内分泌外科	内分泌外科専門医取得に向けて基本の手術を術者として経験

- ① 初期臨床研修修了時の外科症例経験は NCD 登録によって確認し、研修スケジュールは柔軟に対応する
- ② 1 年次（卒後 3 年目）は基幹施設で研修する
- ③ 2 年次 3 年次のうち少なくとも 1 年間は連携施設で研修する
- ④ 原則、ローテーションは本人の希望優先とする。ただし、外科専門医を取るにあたり足りない症例を第一に経験させる為、多少の変更はある
- ⑤ 希望を出した上で、経験症例を加味し連携施設を決定する

【8】研修の週間および年間スケジュール

① 週間スケジュール（本学消化器・一般外科の場合）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
7:30～8:30	症例カンファレンス							
7:30～8:30	抄読会・緊急手術報告							
8:30～9:00	教授回診							
18:00～19:00 不定期	内科外科病理合同カンファレンス							
8:00～9:00	医局会・スタッフ会議（1 回/月）							
18:00～19:30	消化器病フォーラム（不定期）							

※他の週間スケジュールは各診療科紹介及び連携施設紹介ページを参照

②年間スケジュール（案）

月	全体行事予定	
4	・外科専門研修開始。オリエンテーションにて研修マニュアルおよび研修手帳の配布。 ・日本外科学会参加予定（発表）。	医療安全講習会、 感染対策講習会、 医療倫理講習会は 1 年目で受講とする
5	・研修修了者：専門医認定審査申請・提出	
8	・研修修了者：専門医認定審査（筆記試験）	
1 1	・臨床外科学会参加予定（発表）。	各学会の年次総会、 定期学術集会等は各 診療科の研修中に参
2	・専攻医：研修目標達成評価および経験症例数の作成 研修プログラム評価報告の作成 ・指導医、指導責任者：指導実績報告の作成	

3	<ul style="list-style-type: none"> ・その年度の研修修了 ・専攻医：その年度の研修目標達成評価および経験症例数の報告書提出 ・指導医、指導責任者：前年度の指導実績報告書提出 ・研修プログラム管理委員会開催 	加予定とする
---	---	--------

【9】施設群による研修プログラムおよび地域医療について

①本研修プログラムでは、地域の連携施設とともに病院施設群を構成している。専攻医はこれらの施設群をローテートすることにより、多彩で偏りのない充実した研修を行うことが可能である。大学の研修で不足しがちな **common diseases** の症例を地域の連携病院で経験し、医師としての基本的な力を獲得するプログラムとしている。多種多様な症例を経験するために、本大学および地域の連携施設で研修を行うことが重要である。また、指導内容や経験症例数に不公平が生じないように十分配慮する。

施設群における研修の順序、期間等については、専攻医数や個々の専攻医の希望と研修進捗状況、各病院の状況、地域の医療体制を勘案して、本大学外科専門研修プログラム管理委員会が決定する。

②地域の連携病院では多くの症例を経験することができる。また、地域医療における病診・病病連携、地域包括ケア、在宅医療などの意義について学ぶ。以下に本研修プログラムにおける地域医療についてまとめる。

- ◆本研修プログラムの連携施設には、その地域における地域医療の拠点となっている施設があり、連携施設での研修中に以下の地域医療（過疎地域も含む）の研修が可能。
- ◆地域の医療資源や救急体制について把握し、地域の特性に応じた病診連携、病病連携のあり方について理解し実践する。
- ◆消化器がん患者の緩和ケアなど、ADLの低下した患者に対して、在宅医療や緩和ケア専門施設などを活用した医療が経験できる。

【10】研修評価・修了

- ①指導医マニュアルに沿って専攻医を形成的に評価する
- (1) 専門研修の1年目、2年目、3年目のそれぞれに、コアコンピテンシーと外科専門医に求められる知識・技能の習得目標を設定し、その年度の終わりに達成度を評価する。
- ②研修施設の移動やローテーション毎に、研修マニュアルに基づく研修目標達成度評価を行い、研修プログラム管理委員会に報告する
- ③3年次（卒後5年目）専門研修プログラム修了時に外科専門医研修プログラム管理委員会にて総括的評価を行う
- (1) 知識、病態の理解度、処置や手術手技の到達度、学術業績、プロフェッショナルとしての態度と社会性など、年度ごとに行われる形成的評価を参考に評価する。最終年度の専攻医指導評価と目標達成度評価報告で基準以下（到達レベルDまたは1.劣る）の場合は未修了とする
- (2) 多職種（看護師など）のメディカルスタッフの意見も取り入れて評価を行う
- (3) 研修期間中の休止期間が規定を超える場合、専門研修修了時に未修了扱いとし、原則、引き続き同一の専門研修プログラムで研修を行い、規定を超えた休止日数分以上の日数の研修を行う

【11】研修修了認定

3年次（卒後5年目）専門研修プログラム修了時に外科専門研修プログラム管理委員会より、総括的評価にて修了要件を満たした者に対しては、外科専門医研修修了証を交付する

【12】プログラム修了後の進路

東京女子医科大学のサブスペシャリティのプログラムに移行可能である。また、他施設のサブスペシャリティ単独型コースへの移行も可能である

【13】専門医研修期間の猶予

- ① 3年間の専門研修プログラムにおける休止期間は最長180日とする。
- ② 妊娠・出産・育児、傷病・その他の正当な理由による休止期間が180日を超える場合、研修延期となり、引き続き同一の専門研修プログラムで休止日数分以上の研修を行う。
- ③ 大学院（研究専任）、または留学などによる研究専念期間が6か月を超える場合、研修延期となり、②同様、休止日数分以上の研修を行う。（ただし大学院コースの場合は例外とする。）
- ④ 専門研修プログラムの移動は原則認めない。（ただし、結婚・出産・傷病、親族の介護、その他正当な理由などで同一のプログラムでの専門研修継続が困難となった場合で、本人より申し出があり、外科研修委員会の承認があれば、他の外科専門研修プログラムに移動できる。）
- ⑤ 症例経験基準、手術経験基準を満たしていない場合にも未修了として取扱い、原則として引き続き同一の専門研修プログラムで当該専攻医の研修を行い、不足する経験基準以上の研修を行うことが必要である。
ただし、休止期間中の学会参加実績、論文、発表実績、講習受講実績は、専門医認定要件への加算を認める。（中断期間中のものは認めない。）

【14】専門研修実績記録システム、マニュアル等

研修実績および評価の記録

外科学会のホームページにある書式（専攻医研修マニュアル、研修目標達成度評価報告用紙、専攻医研修実績記録、専攻医指導評価記録）を用いて、専攻医は研修実績（NCD登録）を記載し、指導医による形成的評価、フィードバックを受ける。

専攻医の研修履歴（研修施設、期間、担当した専門研修指導医）、研修実績、研修評価および専攻医による専門研修施設および専門研修プログラムに対する評価を保管する。

プログラム運用マニュアル

◆専攻医研修マニュアル

日本外科学会の研修実績管理システムにて定める

◆指導者マニュアル

日本外科学会の研修実績管理システムにて定める

◆専攻医研修実績記録フォーマット

専攻医は自身の研修実績を日本外科学会の研修実績管理システムに登録する

◆指導医による指導とフィードバックの記録

指導医による専攻医の研修状況の確認や研修評価は、日本外科学会の研修実績管理システムにて行う

◆指導者研修計画（FD）の実施記録

指導者による研修計画（FD）の実施記録は、日本外科学会の研修実績管理システムにて行う

【15】専攻医募集及び選考方法

- ①応募時期：公募
- ②応募人数：20名
- ③応募書類：願書、履歴書、写真（無帽上半身・カラー光沢3×4cm）、最終学歴卒業証明書、医師免許証（写し）、健康確認票（指定書式）、初期研修修了（見込み）証明書（書式不問）
- ④選考方法：試験（小論文）、面接 ※状況により変更あり
- ⑤選考時期：未定（詳細は病院HPで確認）※募集定員に満たない場合は追加試験あり
- ⑥選考結果：専攻医登録システムによりメールにて通知予定

【16】身分及び待遇

- ①身分：東京女子医科大学病院の後期研修医（常勤）として採用する
- ②給与：本学規定により支給
- ③保険関係：本学健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険に加入

【17】資料請求先

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1
東京女子医科大学病院 卒後臨床研修センター
TEL 03-3353-8111（内線20331～2）
FAX 03-5269-7825
e-mail sotsuken.bm@twmu.ac.jp

【18】診療科紹介

診療科名：消化器・一般外科

1. 診療科の特徴

消化器・一般外科（2021年度から上部消化管、下部消化管、炎症性腸疾患、肝胆膵の4科で編成）は、長い歴史を持つ消化器病センターをホームグラウンドとしています。当センターは、患者中心の医療と優れた臨床医の育成、臨床に即した医学研究を行うことを目的として1965年に開設され、その翌年から卒後教育のための“医療練士制度”がスタートしました。現在の専門医制度を先取りした形の医療練士制度は、6年間の教育カリキュラムとして、日本外科学会外科専門医制度が開始されるまで受け継がれてきました。そのため、当センターの専門医修練カリキュラムは、どのような消化器病疾患にも対応可能な専門医を育成することを目標とした医療練士制度を土台として組み立てられており、専攻医は“練士”と呼ばれます。

当センターは、元来、内科と外科の混成チームで診療体制を組んでおり、医局も共有しています。そのため、内科、外科を問わず練士は診断から治療まで幅広く専門性の高いスキルを修得することができます。この点が、一般的な大学病院での研修とも地域中核病院での研修とも異なる特徴です。また、センター内には、開設者である中山恒明先生の「治るのは患者さん自身、医者はその手助けをする」、「治療の場では常に患者さんの自然治癒力をいかに引き出すかを考えておかなければならない」という教えが脈々と受け継がれており、患者中心の医療の心構えを日々の診療の中で体得することができます。

現行の専門医修練カリキュラムは5年間のプログラムですが必要に応じて延長することも可能です。1、2年目は消化器系4科および必要に応じて他科もローテートし、外科学会専門医取得に必要な症例を経験します。同時にセンター内で内視鏡検査、超音波検査、レントゲン検査、病理学の基本を学びます。内視鏡や超音波検査の技術修練も可能です。その後2年間、研修連携病院で術者の経験をする機会を得ながら自立した臨床医になるための研鑽を積みみます。そして再び当センターに戻り、4科をローテートし、最先端の消化器外科診療の一端を担いながら研修および研究を行います。またESDやPTCD・ENBD・RFA・TACEなども、独立した術者を目指して研修します。さらに、患者や医療スタッフとのコミュニケーションスキルや、医療コスト、医療連携などの病院経営に関わるスキルについても徹底した指導を行い、単なる外科医ではなく、社会に必要とされる医療人に育つための指導を行います。

2. 指導医・外科スタッフ（18名）

教授	江川裕人	講師	樋口亮太
教授	板橋道朗	講師	成宮孝佑
教授	山口茂樹	准講師	山下信吾
准教授	本田五郎	准講師	工藤健司
准教授	井上雄志	准講師	番場嘉子
准教授	有泉俊一	准講師	植村修一郎
准教授	小寺由人	助教	谷口清章
准教授	小川真平	助教	加藤孝章
准教授	大木岳志	助教	大目祐介

3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症例	手術数	術者として	助手として
食道亜全摘再建術	55件	0件	54件
胃悪性腫瘍手術	92件	20件	71件
結腸・直腸切除術	148件	40件	107件
炎症性腸疾患	36件	10件	26件
肝切除術	159件	20件	138件

膵臓悪性腫瘍手術	72 件	0 件	72 件
胆道疾患手術	123 件	60 件	63 件
肝移植術	23 件	0 件	23 件
その他の消化器・一般外科疾患	406 件	198 件	212 件
合 計	1114 件	348 件	766 件

4. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
7:30～8:30	症例カンファレンス							
7:30～8:30	抄読会・緊急手術報告							
8:30～9:00	教授回診							
18:00～19:00 不定	内科外科病理合同カンファレンス 期							
8:00～9:00	医局会・スタッフ会議（1回/月）							
18:00～19:30	消化器病フォーラム（不定期）							

5. 専攻医へ向けてメッセージ

専門医の資格をとっても実力が伴わなければ専門医として患者さんを救うことはできません。元来、当センターの医療練士制度は、実力と心と哲学を兼ね備えた臨床医を育てるための教育カリキュラムです。消化器外科医としての真の実力をつけたい方を募集しています。（専門研修プログラム責任者：本田五郎）

6. 連絡先

病院名：東京女子医科大学病院 消化器・一般外科
 住 所：〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1
 T E L：03-3353-8111
 担当者：医局長 工藤健司
 e-mail：kudo.kenji@twmu.ac.jp
 U R L：消化器病センターHP <http://www.twmu.ac.jp/IGE/>

診療科名：心臓血管外科

1. 診療科の特徴

日本心臓血圧研究所として 1951 年の開設以来、積み重ねた症例数は 35,000 例を超えており、国内随一の high volume center として心臓血管外科領域の手術を行っている。虚血性心疾患や大動脈疾患、弁膜症、先天性心疾患のみならず重症心不全に対する植込型補助人工心臓（VAD）、心臓移植、さらには血管内治療（ステントグラフト、ステントバルブ等）と、心臓血管外科領域のあらゆる専門分野の手術を行っている。当科ではこれら全ての疾患とそれに対する手術、術後管理を網羅的に研修することを必須としている。当科における研修は、専門医となるための必須条件を満たしており、将来、心臓血管外科領域の中で更に専門分野の選択する際にも、選択肢の幅は最大限にあるのが特徴である。

① 豊富な症例数と幅広い専門分野

虚血性心疾患、弁膜症、大動脈疾患、先天性心疾患、重症心不全/心臓移植、血管内治療の各分野の研修・研究を行う。重症例の術後管理を成し得るよう指導し、また早期から基本手技を習熟できる体制をとっている。ICU での術後管理は、特に心臓血管外科手術術後の予後に大きく影響するために、その研修は必須となっている。IABP、PCPS、CHDF などに加え、高度低心機能症例、VAD（補助人工心臓）や心移植後の術後管理、急変時の対応の技術・知識を習得する。基本的な気管内挿管、胸腔穿刺、中心静脈カテーテル挿入から、IABP や PCPS の挿入など、重症例の管理を行うにあたって必須の手技に関しては、

早期より上級医の指導のもとに積極的に習熟する体制をとっている。また、若手医師にむけた勉強会も行い知識の習得にも力を入れている。Wet labo の開催、さらには国内外での学会発表、論文執筆を積極的に薦めている。

心臓血管外科の ICU 管理に麻酔科の心臓血管外科専門チーム (TCAT) も加わり、共に術後管理を行うことで、さらなる成績の向上を目指している。朝の ICU ラウンドでは、心臓血管外科医師、担当看護師だけでなく、麻酔科医、臨床工学士、薬剤師も参加し、多職種による多角的なディスカッションのもと、治療にあたっている。

さらに近年、VAD (補助人工心臓) や心臓移植の領域において、「ハートチーム」の重要性が指摘されている。当科では医師 (心外・循環器内科)・看護師・臨床工学技士・リハビリ・リエゾン・移植コーディネーターなど多くの職種からなるシームレスな重症心不全チームを結成しており、患者中心の医療を提供できるように努めている。

2014 年 4 月からは、最新式のハイブリッド手術室を導入し心血管治療においても高度なチーム医療を実践している。とりわけ動脈瘤治療の分野では、開窓型ステントグラフト (高度医療機器承認、グッドデザイン賞受賞) を導入することで、日本で初めてステントグラフト実施基準の施設認定を取得して以来、世界最高水準の大動脈瘤の血管内治療を展開している。循環器内科とのハートチームによる経皮的動脈弁置換術 (TAVI)、Mitral clip や、エキシマレーザーによるペースメーカーリード抜去、Sutureless valve など、この施設でしか経験できない治療も数多く行っている。

② 海外留学、研究などの選択肢の多様性

当科では、海外留学を積極的に進めており、世界各地の施設に常時 5～6 名の医局員が留学している。また大学院での研究も可能で、自分が興味のある研究テーマを研究することが可能である。本学はもとより、TWIns (東京女子医科大学・早稲田大学連携先端生命医科学研究施設) での研究や、他施設や他科との共同研究も可能となっている。

③ 豊富な関連病院

当科は心臓血管外科黎明期から手術を行い、多くの心臓外科医を輩出し、全国各地の病院に心臓血管外科を立ち上げてきたという歴史的背景があり、年間症例数 100～200 の開心術を行っている関連病院が多数ある。関連病院・出向先には、東京女子医科大学八千代医療センター、東京女子医科大学東医療センター、仙台循環器病センター、松戸市立総合医療センター、聖隷浜松病院、山梨県立中央病院、長野中央病院、岐阜県立総合医療センター、済生会熊本病院、綾瀬循環器病院、伊勢崎市民病院、国立循環器病研究センター、千葉県こども病院、国立病院機構横浜医療センター、富山県立中央病院、長野県立こども病院、愛媛県立中央病院、福山循環器病院、荻窪病院、市立函館病院、千葉西総合病院、さいたま市立病院、大和成和病院等がある。

④ 先端医療

東京女子医科大学・早稲田大学で研究開発を行った植込型補助人工心臓の臨床使用など重症心不全領域は良好な成績を上げており、成人・小児の心臓移植認定施設にもなっている。組織工学を応用した再生血管の臨床応用を世界に先駆けて行った他、虚血性心疾患を持つ重症心不全への筋芽細胞シート移植手術も保険償還され、積極的に行っている。弓部大動脈瘤や分岐部の複雑病変に対する開窓型ステントグラフト治療を多数行っており良好な成績を上げている。ステントバルブ (TAVI) も内科・外科協同ハートチームにより行っている。

⑤ 大学院

希望により大学院へ入学することが可能である。研究テーマに関しては教授・講座主任と相談して、興味ある分野での研究が可能である。

2. 指導医・外科スタッフ (9 名)

教授・講座主任	新浪博士	教授	新川武史	准教授	齋藤 聡
准教授	濱崎安純	講師	菊地千鶴男	講師	道本 智
講師・医局長	市原有起				

3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
開心術（各グループ配属時）	50～100件	数件	50～100件
非開心術（ペースメーカー等を含む）	20～50件	10前後件	20～50件
創傷処置・IABP等・必須外科処置	件	件	件
合 計	70～150件	10～20件	70～150件

4. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
7：20～7：50	カンファレンス							
7：50～8：20	講座主任総回診							
8：30/17：00/終了時	心臓病 ICU 申し送り							
9：00	手術（成人）							
9：00	手術（小児）							
9：00～	外来							
16：30～17：30	心外・循内合同カンファレンス							
9：00～	スタッフミーティング							
17：00～18：00	心不全・移植カンファレンス							

5. 専攻医へ向けてメッセージ

当科医局員は一流の心臓外科医を目指し、日々研鑽を重ねています。
見学は随時受け付けています。是非一度お越し下さい。

6. 連絡先

担当者：市原 有起（医局長）
e-mail：surg.au@twmu.ac.jp
URL：<http://twmu-cardiovascular.jp/>

診療科名：呼吸器外科

1. 診療科の特徴

疾患としては肺腫瘍（肺癌に加え、良性、悪性）、縦隔腫瘍（胸腺腫、胸腺癌、気管支原性嚢胞など）、嚢胞性肺疾患（気胸、巨大肺嚢胞など）が多く、その他には重症筋無力症、胸膜中皮腫、膿胸、喀血症例など、呼吸器外科全般について診療を行っている。約9割の症例は胸視下手術であるが、開胸手術では、血管形成、気管支形成など拡大手術を行っている。肺癌、縦隔腫瘍に対するロボット手術をいち早く導入しており、保険収載となった2018年4月以降、症例数は飛躍的に増加している。全国でもトップの経験を有する施設であり、他施設の医師が手術見学を行う施設として認定されている。従来の胸腔鏡下手術では、豊富な経験を生かして治療を行っており、早期肺癌や転移性肺腫瘍に対する区域切除では、術前3Dモデルを構築し、安全で正確な手術を行っている。また、硬性・軟性気管支鏡を用いたインターベンション治療では、気管気管支内レーザー焼灼、ステント挿入術、気管支充填術を行っている。

2. 指導医・外科スタッフ（4名）

教授・診療部長	神崎正人	講師	井坂珠子
講師（東医療センター兼務）	松本卓子	准講師	青島宏枝

3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
気胸 胸腔鏡下肺部分切除術	10件	7件	3件

転移性肺腫瘍 胸腔鏡下部分切除術	15 件	12 件	3 件
縦隔腫瘍摘出術	10 件	1 件	9 件
肺癌 胸腔鏡下肺部分切除術	15 件	10 件	5 件
肺癌 胸腔鏡下肺区域切除術	5 件	0 件	5 件
肺癌 胸腔鏡下肺葉切除術	10 件	0 件	10 件
気管支鏡下レーザー、ステント	0 件	0 件	0 件
膿胸	5 件	1 件	4 件
その他	15 件	5 件	10 件
合計	85 件	36 件	49 件

4. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～9:00	抄読会 症例カンファレンス							
9:00～	手術							
9:00～12:00	午前外来							
1:30～4:00	午後外来							
9:00～17:00	病棟業務							
9:00～10:00	総回診							
8:40～8:50	朝回診							
16:00～16:30	夕回診							
18:00～19:00	呼吸器カンファレンス (月 1 回)							

5. 専攻医へ向けてメッセージ

当科では肺癌を始めとする呼吸器外科的疾患全般に対して外科治療を行っています。年間の手術症例は 250-300 例でそのうち肺癌手術が 100-120 例程度です。全手術の約 9 割を低侵襲な胸腔鏡下に行っています。従来の胸腔鏡下手術はもちろん、最新のロボット手術を研修早期から経験することができます。早期肺癌、転移性肺腫瘍には、3次元画像を用いた正確な区域切除を行い、一方で局所進行病変に対しては拡大手術を必要に応じて選択しています。他疾患合併症例も多く、多様な周術期管理の経験できます。

当科の研修の特徴として、後期研修早期からの豊富な臨床経験、胸腔ドレナージ、気管支鏡検査などの手技、手術経験が挙げられます。各種専門医取得に必要な症例数をはるかに超える経験を積むことができ、最短年限で各種専門医を取得することが可能です。呼吸器外科に求められる手技をバランス良く経験できるため、General な呼吸器外科医をめざす方には最適な修練環境であると思います。

6. 連絡先

担当者：青島宏枝

e-mail : aoshima.hiroe@twmu.ac.jp

URL : www.twmu.ac.jp/CHI/

診療科名：小児外科

1. 診療科の特徴

東京女子医科大学小児外科は、都内でも有数の日本小児外科学会認定施設に認定されています。院内の他外科診療科と密に連携していると同時に、関連病院への出向は小児・成人に関わらず希望の病院を選択でき、小児外科専門医取得のための必須条件である外科専門医も余裕をもって最短で取得可能であります。

また、小児科、腎臓小児科、循環器小児科、母子総合医療センター新生児部門、脳神経外科小児部門とともに小児総合医療センターが設立されており、高度な小児チーム医療の中で小児外科の研修を行うことが可能であります。

2. 指導医・外科スタッフ（ 4名 ）

臨床教授 世川 修 講師 末吉 亮
助教 牧 ゆかり 非常勤講師 山口 隆介

3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
鼠径ヘルニア	54件	32件	12件
停留精巣、遊走精巣	40件	29件	6件
包茎	13件	9件	2件
臍ヘルニア	17件	8件	6件
虫垂炎	10件	5件	1件
その他、小手術	24件	21件	3件
合 計	158件	104件	30件

4. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
午前、午後	外来業務							
午後	外来透視検査、処置							
午前、午後	手術							
手術終了後	教授回診							
午前	症例検討会							
午後	手技練習会							
午後	入院透視検査、処置							

5. 専攻医へ向けてメッセージ

東京女子医大小児外科の特徴である小児内視鏡（腹腔鏡・胸腔鏡）手術に関しては、多くの疾患を内視鏡下で診断・治療しており、先天性食道閉鎖症、先天性横隔膜ヘルニア、胆道閉鎖症、先天性胆道拡張症、ヒルシュスプルング病、鎖肛などの小児外科を代表する新生児・乳児疾患に対しても、内視鏡手術を標準術式として行っています。当科では、最先端の小児内視鏡外科手術を学ぶことが可能です。

6. 連絡先

担当者：末吉亮
e-mail：sueyoshi.ryo@twmu.ac.jp
URL：http://www.twmu.ac.jp/pediatric-surgery/

診療科名：乳腺内分泌外科

1. 診療科の特徴

乳腺の診療では整容性を考慮した手術を行っており、近年同時再建症例も増加している。早期乳癌の手術だけでなく、薬物療法や放射線治療などの集学的治療も積極的に行っている。大学ならではの心疾患、腎疾患、糖尿病、リウマチ・膠原病などの合併症を有した症例経験も豊富である。

内分泌領域では甲状腺腫瘍や副甲状腺機能亢進症のほか副腎腫瘍、希少疾患である多発性内分泌腫瘍症、副腎癌そしてまれな内分泌癌（甲状腺髄様癌、甲状腺未分化癌、副甲状腺癌、副腎癌、悪性褐色細胞腫）などを経験している。

乳腺あるいは内分泌領域の疾患は専門性が高いが一般外科の診療で遭遇することも稀でない。的確な判断と対応ができるよう、まず基本となる知識と技能を身に付ける研修を行う。また、関連病院とも密に連携して幅広い一般外科診療の能力を磨くこともできる。

2. 指導医・外科スタッフ（5名）

教授	岡本高宏	准講師	尾身葉子
特任教授（女性科）	神尾孝子	准講師	野口英一郎
講師	堀内喜代美		

3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数（2020年実績）	術者*	第一助手*
甲状腺悪性腫瘍	65件	4件	5件
甲状腺良性腫瘍、パセドウ病	38件	3件	3件
原発性副甲状腺機能亢進症	45件	18件	7件
続発性副甲状腺機能亢進症	5件	2件	1件
副腎腫瘍	19件	0件	13件
乳がん	161件	24件	4件
乳がん再発	11件	0件	1件
乳腺良性腫瘍	26件	1件	2件
その他	18件	6件	0件
合 計	406件	64件	36件

* 術者、第一助手としての症例数は、実際に2020年に後期研修医が経験をした数です。

4. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:30~17:00	手術	■		■		■		
9:00~17:00	外来	■		■		■		
9:00~17:00	病棟業務	■		■		■		
8:00~8:45	朝カンファレンス	■		■		■		
9:00~9:40	教授あるいはスタッフ回診		■		■			
17:00~17:40	研究カンファレンス（第4水曜日、任意）			■				

5. 専攻医へ向けてメッセージ

大学院を含め、学位取得を積極的に支援しています。医学研究は新しい知識や技術を創造する知的活動です。価値ある成果を得るために心を砕き、それを伝える言葉の選び方、使い方にも気を遣うことは普段の臨床で「他を思う心」（仁）にも繋がります。大学で学ぶことの意義がここにあるのです。「安心を届け、つらさを分かち合う」医療を実践するために生涯をかけて知識、技能、そして態度を学び続ける。私たちはそういう価値観を共有しています。

6. 連絡先

担当者：岡本高宏
e-mail：okamoto.takahiro@twmu.ac.jp
URL：<https://bestwmu.xsrv.jp/>

診療科名：救命救急・救急診療

1. 診療科の特徴

救命救急センターとして三次救急患者と Emergency Division: EmD (救急外来) での一次、二次患者の急性疾病に対応する。外傷患者の特徴として、三次救急では、交通外傷、墜落・転落外傷等による躯幹外傷に、頭部・四肢外傷を合併する多発外傷症例が主体である。また、EmD では、頭部外傷、四肢外傷を中心に、形成外科的な処置を要する軽症から中等症の外傷患者の対応にあたる。

2. 指導医・外科スタッフ（2名）

教授（講座主任） 矢口有乃 臨床教授 武田宗和

3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
腹部外傷手術	2件	1件	1件
消化管穿孔	0件	0件	0件
腸間膜血行不全	0件	0件	1件
腹膜炎手術	0件	1件	0件
合 計	2件	2件	3件

4. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:00-9:30	朝カンファレンス（日・祝日は9:00-）							
9:30-10:30	午前回診（ICU・病棟）							
10:30-16:00	処置・検査含む病棟業務							
13:00-14:00	多職種カンファレンス							
16:00-17:00	夕カンファレンス							
17:00-18:00	夕回診（ICU・病棟）							
17:30-18:00	脳外科・神経内科合同カンファレンス							
12:00-13:30	勉強会							
9:00-12:00	フォローアップ外来							
0:00-	ICU回診（当直勤務帯）							
9:00-17:00	救急外来日勤							
17:00-9:00	救急外来夜勤（原則翌日休日）							
	手術（原則待機手術なし）							

救命救急ローテーション中、以下の下線に該当する項目の点数取得が可能である。

体幹（胸腹部）臓器損傷手術 3点（術者）、2点（助手）

上記以外の外傷手術（NCDの規定に準拠） 1点

- ・重症外傷（ISS 16以上）初療参加・・・・・・・・ 1点
- ・日本外科学会外傷講習会受講・・・・・・・・ 1点
- ・外傷初期診療研修コース受講・・・・・・・・ 4点
- ・e-learning受講・・・・・・・・ 2点
- ・ATOMコース受講・・・・・・・・ 4点
- ・外傷外科手術指南塾受講（日本Acute Care Surgery学会主催講習会）・・・3点
- ・日本腹部救急医学会認定医制度セミナー受講（分野V(外科治療)－C.Trauma surgery)・・・1点

5. 専攻医へ向けてメッセージ

腹部外傷、急性腹症に対して緊急手術を行い、全身状態が不良な患者については、継続して救命救急センターでの集中治療による全身管理にも携わる。

6. 連絡先

担当者：矢口有乃

e-mail：dem.ag@twmu.ac.jp

URL：http://www.twmu.ac.jp/hosp/ccmc/about/

【19】連携施設

①東京女子医科大学東医療センター

住 所：〒116-8567 東京都荒川区西尾久 2-1-10 TEL：03-3810-1111

URL：<https://twmu-mce.jp/> 【2021年度足立区江北エリアへ移転予定】

週間スケジュール

消化器外科	月	火	水	木	金	土	日
8:00-9:00 外科部長回診	○						
8:00-9:00 診療グループ回診(午前)		○	○	○	○	○	○
16:00-17:00 診療グループ回診(午後)	○	○	○	○	○		
17:00-(第2月曜) 消化器合同カンファレンス	○						
19:00-(第3月曜) 抄読会	○						
17:00-(第4月曜) キャンサーボード	○						
17:30-19:00 術前検討会	○				○		
9:00-17:00 手術	○		○		○		
9:00-12:00 消化器系検査/治療(内視鏡・血管造影検査)		○		○		○	
13:30-17:00 消化器系検査/治療(内視鏡)		○	○				
9:00-12:00 外来診療	○	○	○	○	○	○	
13:30-17:00 疾患別専門外来診療	○	○	○	○	○		
18:00～重症例検討会・学会予演会など(適宜開催)	○				○		
心臓血管外科	月	火	水	木	金	土	日
8:00-9:00 心臓血管外科回診	○			○			
8:00-9:00 循環器内科・心臓血管外科カンファレンス					○		
9:00-17:00 手術	○		○		○		
9:00-12:00 心臓カテーテル検査		○					
8:00-8:30 勉強会			○				
8:30-9:00 病棟業務	○	○	○	○	○	○	
9:00-12:00 外来診療	○	○	○	○	○	○	
呼吸器外科	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 呼吸器外科回診	○	○	○	○	○	○	
8:30-9:00 病棟業務	○	○	○	○	○	○	
9:00-17:00 手術	○				○		
8:00-9:00 循環器内科・心臓血管外科・呼吸器外科カンファレンス					○		
13:30-16:00 気管支鏡検査	○			○			
16:00-17:00 術前検討会	○				○		
乳腺外科	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 回診	○	○	○	○	○	○	
8:30-9:00 病棟業務	○	○	○	○	○	○	
9:00-16:00 手術			○		○		
9:00-12:00 外来診療	○	○	○	○	○	○	
13:30-17:00 外来診療	○	○	○	○			
16:30-17:00 回診	○	○	○	○	○		
17:00-18:00 術前検討会	○				○		

②八千代医療センター

住 所：〒千葉県八千代市大和田新田 477-96 TEL：047-458-6000 (内線 2432)

URL：www.twmu.ac.jp/TYMC/

週間スケジュール

消化器外科	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:20～	病棟カンファレンス							
18:00～	症例検討会							
9:00～	手術							

9:00～	回診								
9:00～	検査（内視鏡など）								
呼吸器外科									
8:20～	病棟回診								
9:00～	手術								
14:00～	検査（気管支視鏡など）								
15:30～	カンファレンス								
16:20～	病棟回診								
乳腺・内分泌外科									
8:20～	病棟回診								
9:00～	手術								
16:30～	病棟回診								
13:30～	検査（生検など）								
17:00～	症例検討会								
心臓血管外科									
8:15～	ICU 病棟回診								
17:30～	症例検討会								
9:00～	手術								
16:00～	ICU 病棟回診								
小児外科									
8:30～	ミーティング 朝回診								
9:00～	手術								
17:00～	夕回診								
13:00～	画像検査、造影検査								
17:00～	症例検討会								

③愛媛県立中央病院

住 所：〒790-0024 愛媛県松山市春日町 83 番地 TEL：089-947-1111(代表)

URL：<http://www.eph.pref.ehime.jp/epch/>

週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
消化器外科								
7:45～8:15	抄読会（第1～第3）					○		
17:15～17:45	消外関連勉強会（月2～3回）				○			
7:45～8:15	朝カンファレンス（術前・術後・プレ・デュー）	○		○		○		
7:45～8:15	M and M カンファレンス（第4）					○		
9:00～17:30	手術	○	○	○	○	○		
8:30～17:00	病棟業務	○	○	○	○	○	○	○
8:30～12:30	午前外来	○	○	○	○	○		
13:00～17:00	午後外来	○	○	○	○	○		
17:00～17:30	総回診（各グループ）	○	○	○	○	○		
18:00～19:00	放射線診断合同カンファレンス			○				
18:00～19:00	内科外科合同カンファレンス			○				
18:00～19:00	病理合同カンファレンス			○				
8:00～8:30	化学療法カンファレンス（月2回）				○			
心臓血管外科								
8:00～8:20	朝カンファレンス	○	○	○	○	○		
9:00～15:00	手術		○	○	○	○		
8:30～9:00	病棟業務	○	○	○	○	○		
15:00～17:00								
17:30～18:00	週間カンファレンス			○				
呼吸器外科								

7:30~8:30	回診・病棟業務	○	○	○	○	○		
8:30~9:30	回診・病棟業務						○	○
8:30~14:00	外来	○		○	○			
8:30~14:00	病棟業務	○		○	○			
9:00~17:30	手術		○			○		
14:00~15:00	術前カンファレンス			○				
15:00~15:20	病棟カンファレンス			○				
15:20~16:20	抄読会			○				
17:00~17:30	回診・病棟業務	○	○	○	○	○		
16:00~16:30	内科外科放射線科カンファレンス	○						
小児外科								
08:15~08:30	病棟回診（朝）	○	○	○	○	○		
08:30~17:00	外来		○	○	○			
09:00~13:00	手術	○				○		
16:00~16:30	抄読会					○		
17:00~17:30	周産期カンファレンス			○				
17:00~17:15	病棟回診（夕）	○	○	○	○	○		
乳腺・内分泌外科								
07:45~08:10	術前術後カンファレンス	○		○				
07:45~08:10	病理カンファレンス（隔週）		○					
08:30~13:00	午前外来（+エコー検査）	○	○	○	○	○		
13:30~17:00	午後外来（+エコー検査）		○					
13:30~18:30	手術	○		○	○	○		
18:30~19:00	病棟回診	○	○	○	○	○		

④医療法人財団 荻窪病院（心臓血管外科）

住 所：〒167-0035 東京都杉並区今川 3-1-24 TEL：03-3399-1101

URL：<https://www.ogikubo-hospital.or.jp/>

週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
9:00~17:00	手術							
9:00~17:00	病棟業務（処置を含む）							
9:00~12:00	午前外来							
13:30~17:00	午後外来							
17:30~19:00	合同カンファレンス							
9:00~10:00	総回診							
15:00~16:00	手術カンファレンス							
17:00~18:30	医局会議							
hibrid								

⑤済生会熊本病院

住 所：〒861-4193 熊本県熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 TEL：096-351-8000（代表）

URL：<http://sk-kumamoto.jp/>

週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
7:30~	集中治療室カンファレンス	○	○	○	○	○		
7:45~	心臓血管外科病棟カンファレンス		○					
	心臓血管外科手術カンファレンス					○		
8:00~	ハートチームカンファレンス	○			○			
	抄読会			○				
午前	部長回診	○						
	手術	○	○	○	○	○		
午後	手術	○	○	○	○	○		
17:30~	医局会			第1				

⑥ 聖隷浜松病院

住 所：〒430-8558 静岡県浜松市中区住吉 2-12-12 TEL：053-482-2257

URL：<http://www.seirei.or.jp/hamamatsu/>

週間スケジュール

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00~9:00	術前症例検討							
8:00~9:00	術後症例検討							
8:00~9:00	死亡例検討またはカンファレンス							
8:00~9:00	病棟							
9:00~12:00	病棟または手術							
9:00~12:00	総回診または手術							
13:00~17:00	病棟または手術							

⑦ 地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立中央病院

住 所：〒400-8506 山梨県甲府市富士見 1 丁目 1 番 1 号 TEL：055-253-7111(代)

URL：<https://www.ych.pref.yamanashi.jp/>

週間スケジュール

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
9:00-10:00	病棟総回診							
9:00-13:00	カテーテル検査、治療							
14:00-	ペースメーカー手術							
17:00-	症例検討会							
9:00-12:00	外来診療							
9:00-13:00	午前手術							
14:00-18:00	午後手術							

⑧ 医療法人社団武蔵野会 TMG あさか医療センター

住 所：〒350-0023 埼玉県朝霞市溝沼 1340-1 TEL：048-466-2055

URL：<http://www.asakadai-hp.jp/>

週間スケジュール

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
9:30~18:30	一般外科外来 (月~金)						-	-
9:30~17:00	一般外科外来 (土曜日)	-	-	-	-	-		-
10:00~17:00	胸部外科外来 (2 週午後のみ 15:00 時まで)	-	-		-	-	-	-
	小児外科外来	-		-	-		-	-
	血管外科外来	-		-	-			-
	乳腺外科外来	-	-	-	-	-	-	
	心臓血管外科外来 (PM 要予約)		-	-	-	-	-	-
	予定手術日 (AM)						-	-
	予定手術日 (PM)						-	-

⑨ 医療法人社団 常仁会 牛久愛和総合病院

住 所：〒300-1296 茨城県つくば市大曾根 3681 TEL：029-873-3111

URL：<https://www.jojinkai.com/>

週間スケジュール

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
7:30-9:00	カンファレンスおよび回診							
9:00-12:00	手術							
12:00-17:00	手術							
9:00-13:00	外来							
16:00-17:00	カンファレンスおよび回診							
18:00-19:00	勉強会							
9:00-10:00	休日回診							

⑩大分市医師会立アルメイダ病院

住 所：〒大分県大分市大字宮崎1509-2 TEL：(代)097-569-3121

URL：www.almeida-hospital.com/

週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
09:00-09:30	朝カンファレンス							
9:30-	手術							
08:30-09:30	手術検討会							
09:30-12:00	総回診							
09:00-13:00	外来							

⑪一般社団法人 至誠会第二病院

住 所：〒157-8550 東京都世田谷区上祖師谷5-19-1 TEL：03-3300-0366

URL：<http://www.shiseikai-daini-hosp.jp/>

週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
9:00~10:00	回診							
10:00~	手術							
9:30~	内視鏡							
13:00~	放射線検査							
16:00~	カンファレンス							
9:00~14:00	外来							

⑫社会医療法人三栄会 中央林間病院

住 所：〒242-0007 神奈川県大和市中央林間4-14-18 TEL：046-275-0110

URL：<http://www.hospital-crg.net/>

週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:00-	回診							
9:00-12:00	午前外来							
9:00-12:00	内視鏡検査							
9:00-	手術							
13:00-	手術							
病棟業務								

⑬医療法人社団けいせい会 東京北部病院

住 所：〒123-0872 東京都足立区江北6-24-6 TEL：03-3854-3181

URL：<http://www.tokyo-hokubu.jp>

週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:45-9:00	朝カンファレンス							
9:00-9:30	総回診							
9:00-13:00	午前外来							
13:00-17:00	午後外来							
9:30-	手術							
9:30-	内視鏡検査							
11:30-	外科カンファレンス							
17:00-	医局会							
9:00-	病棟業務							

⑭医療法人財団中山会 八王子消化器病院

住 所：〒192-0903 東京都八王子市万町177番地の3 TEL：042-626-5111

URL：<http://www.hachiojisyokaki.com>

週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:00~9:00	朝カンファレンス、回診							
8:45~17:00 (水曜日:PM)	手術							
9:00~17:00	検査(内視鏡など)							
9:00~17:00 (土曜日:AM)	外来							
17:30~18:30	症例検討会							
18:30~19:00	医局会							

⑮谷津保健病院

住 所：〒275-0026 千葉県習志野市谷津 4-6-16 TEL：047-451-6000

URL：<http://www.yatsu.or.jp>

週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
9:00-17:00	手術							
9:00-10:30	病棟回診							
9:00-16:00	外来診療							
9:00-12:00	外来診療							
9:00-12:00	内視鏡検査(上部消化管)							
13:00-17:00	内視鏡検査(下部消化管)							
13:00-16:00	血管造影検査							
8:15-9:00	カンファレンス							

⑯横浜新緑総合病院

住 所：〒226-0025 横浜市緑区十日市場町 1726-7 TEL：045-984-2400(代表)

URL：<http://www.shinmidori.com/>

週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:30~9:00	病棟回診							
9:00~13:00	手術							
13:00~15:00	手術							
9:00~13:00	外来							
14:00~17:00	外来							
9:00~12:00	上部消化管内視鏡検査							
14:00~15:00	下部消化器内視鏡検査							
17:30~19:00	消化器疾患多職種合同 カンファレンス							
17:30-18:30 (月のみ 19:00-)	病棟回診							

⑰東京都保健医療公社 荏原病院

住 所：〒145-0065 東京都大田区東雪谷四丁目 5-10 TEL：03-5734-8000

URL：<http://www.ebara-hp.ota.tokyo.jp>

週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:00-9:00	総回診							
9:00~	手術または病棟業務							
9:00~	検査、病棟業務							
5:00-6:00	夕回診							
6:00-7:30	外科カンファレンス							
6:00-6:30	内科外科放射線科合同カンファレンス							
6:00-7:00	外科病理カンファレンス							

⑱上福岡総合病院

住 所：〒356-0011 ふじみ野市福岡 931 番地 TEL：049-278-1551(直通)

URL：<http://www.kamifukuoka.or.jp/>

週間スケジュール

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	外来診療	●	●	●		●		
9:00~10:30	内視鏡						●	
13:00~17:00	手術			●		●		
13:00~14:00	病棟カンファレンス						●	
13:00~14:00	病棟回診		●					
14:00~14:30	合同会議		●					
15:30~16:00	外来診療	●						
16:00~17:00	患者I.C	●						

⑱東京都保健医療公社 多摩南部地域病院

住所：〒206-0036 多摩市中沢 2-1-2 TEL：042-338-5111

URL：<http://www.tamanan-hp.com/>

週間スケジュール

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30~8:45	朝カンファレンス							
9:30~	手術							
9:00~	病棟業務							
16:30~	総回診							
8:00~9:00	手術症例検討会							
16:30~	病棟カンファレンス							
9:00~15:30	外来							

⑳東京都保健医療公社 豊島病院

住所：〒173-0015 東京都板橋区栄町 33-1 TEL：03 (5375) 1234

URL：<http://www.toshima-hp.jp/>

週間スケジュール

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00~8:45	病棟全員回診（病棟の総回診）	○						
7:45~8:45	術前カンファレンス（放射線科合同）		○					
8:00~8:45	術後合併症検討会（内科、麻酔科）			○				
8:00~8:45	入院患者カンファレンス				○			
8:00~8:45	抄読会・勉強会					○		
8:45~9:00	朝カンファレンス	○	○	○	○	○		
8:50~	手術	○	○	○	○	○		
9:00~	外来	○	○	○	○	○		
9:00~	各種検査	○	○	○	○	○		
17:00~	グループ回診	○	○	○	○	○		
18:00~（1/月）	内視鏡病理カンファレンス					○		
17:00~（1/2W）	キャンサーボード		○					

㉑社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院

住所：〒901-2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地 TEL：098-895-3255（代）

URL：<https://www.heartlife.or.jp/hospital/>

週間スケジュール

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
7:45-8:30	病棟回診、グループ別							
17:30-18:00	病棟回診、グループ別							
18:00-19:00	消化器内科との合同カンファレンス							
8:15-9:00	術後カンファレンス							
14:00-15:30	外科全体回診							
15:30-17:30	術前カンファレンス、抄読会							

⑳一般財団法人 防府消化器病センター 防府胃腸病院

住 所：〒747-0801 山口県防府市駅南町 14-33 TEL：0835-22-3339

URL：<https://www.hofu-icho.or.jp>

週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
午前	外科診療							
〃	諸検査（上部消化器内視鏡）							
午後	諸検査（下部消化器内視鏡）							
午前	医局会							
午後	症例検討会、手術検討会							
午後	総回診							
午後	抄読会							

㉑独立法人地域医療機能推進機構山梨病院

住 所：〒400-0025 山梨県甲府市朝日 3-11-16 TEL：055-252-8831

URL：<https://yamanashi.jcho.go.jp/>

週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～9:00	カンファレンス+回診							
9:00～	手術							
9:00～12:00	外来							
9:00～12:00	内視鏡検査							
9:00～12:00	腹部超音波							
13:00～	手術							
16:30～17:00	回診							
17:00	消化器外科内科症例検討会							

㉒東京医科大学茨城医療センター

住 所：〒300-0395 茨城県稲敷郡阿見町中央 3-20-1 TEL：029-887-1161

URL：<http://ksm.tokyo-med.ac.jp/>

週間スケジュール（消化器外科）

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
7:45-8:30	回診							
8:30-8:45	朝カンファレンス							
9:00～	手術							
9:00～	病棟業務							
	午前外来							
	午後外来							
5:00～5:30	症例検討会							
5:30～6:00	医局全体ミーティング							
5:00～	キャンサーボード							

㉓埼玉県済生会栗橋病院

住 所：〒349-1105 埼玉県久喜市小右衛門 714-6 TEL：0480-52-3611

URL：www.saikuri.org

週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～8:30	抄読会・勉強会							
8:00～8:30	内視鏡カンファレンス							
8:30～9:00	朝回診							
9:00～	病棟業務							
9:00～17:00	手術							
16:00～17:00	手術・病理カンファレンス							
17:00～17:30	死亡症例カンファレンス							

17:45 ~ 18:00	病棟カンファレンス							
18:00 ~ 18:15	新患カンファレンス							
18:15 ~ 18:30	夕回診							
17:30 ~ 18:00	病棟合同カンファレンス							

②⑥ 都立多摩総合医療センター (胸部外科)

住 所：〒183-8524 府中市武蔵台 2-8-29 TEL：042-323-5111

URL：www.fuchu-hp.fuchu.tokyo.jp/

週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:40 ~ 9:00	朝回診							
8:45 ~	手術							
9:00~ 12:00	午前外来							
13:00~ 16:00	午後外来							
9:00~ 17:00	病棟業務							
17:00~ 17:45	夕回診							
9:00~ 12:00	気管支鏡検査							
16:00~ 17:00	呼吸器内科、放射線科カンファレンス							

②⑦ 社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院

住 所：〒350-1305 埼玉県狭山市入間川 2-37-20 TEL：04-2953-0909

URL：<http://www.saitama-sekishinkai.jp>

週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
7:45-8:15	モーニングセミナー							
8:05-8:30	ER ケースカンファレンス							
8:15-8:30	外科術前カンファレンス							
8:30-8:45	救急カンファレンス							
8:45-	病棟業務							
9:00-	手術							
9:00-12:00	病棟回診							
9:00-12:00	外来							
12:30-13:00	ランチョンセミナー							
14:00-15:00	外科病棟カンファレンス							
17:00-18:00	外科カンファレンス							
17:00-18:00	手術症例カンファレンス							
17:00-18:00	外科病理カンファレンス							
18:00-19:00	C P C							

②⑧ 熊本赤十字病院

住 所：〒8601-8520 熊本県熊本市東区長嶺南二丁目 1 番 1 号 TEL：096-384-2111

URL：<https://www.kumamoto-med.jrc.or.jp/>

週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:30-8:40	診療部医局朝礼							
8:40-9:00	外科申し送り							
9:00-18:00	手術 病棟回診							
18:00-	キャンサーボード							

②⑨ 独立行政法人地域医療推進機構 東京城東病院

住 所：〒136-0071 東京都江東区亀戸 9-13-1 TEL：(代)03-3685-1431

URL：<https://joto.jcho.go.jp/>

週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:00~8:30	朝カンファレンス							

8:30～9:30	病棟回診および業務							
9:00～9:30	外科カンファレンス							
9:30～12:00	午前外来もしくは内視鏡業務							
9:00～	手術							
13:00～	手術							
14:00～16:00	午後外来もしくは内視鏡業務							
15:30～	合同カンファレンス（症例検討会を含む）							
16:30～	勉強会、抄読会							

③⑩医療法人社団 栄悠会 綾瀬循環器病院

住 所：〒120-0006 東京都足立区谷中 2-16-7 TEL：03-3605-2811

URL：<http://www.ayaseheart.or.jp/>

週間スケジュール

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00-9:20	CAG カンファレンス、総回診							
8:00-8:20	ICU, HCU, ER 回診							
9:30-12:00	午前外来							
8:30-	手術							
9:30-	手術							
16:00-17:00	手術カンファレンス							
17:00-17:30	ICU, HCU, ER 回診							
7:45-8:15	医局会、抄読会（月 1 回、第 1 週）							
8:30-9:00	運営会議（月 1 回、第 3 週）							

③⑪公益財団法人東京都保健医療公社 多摩北部医療センター

住 所：〒189-8511 東京都東村山市一丁目 7 番 1 号 TEL：042-396-3811

URL：<http://www.tamahoku-hp.jp/>

週間スケジュール

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:15	朝カンファレンス	○	○	○	○	○		
8:15-9:00	朝病棟回診	○	○	○	○	○	○	○
9:00-	手術	○	○		○			
16:00-16:30	夕方病棟回診	○	○	○	○	○	○	○
16:30-17:30	外科・消化器外科カンファレンス		○					
16:30-17:30	消化器内科・消化器外科カンファレンス				○			

③⑫仙台循環器病センター

住 所：〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央 1-6-12 TEL：022-372-1111

URL：<http://www.mygsji.or.jp/>

週間スケジュール

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:15～	総回診	0						
8:00～9:00	カンファ、病棟常務	0	0	0	0	0		
9:00～	手術	0	0		0	0		
9:30～	外来	0		0		0		
16:30～	心臓外科・循内カンファ			0				
16:00～	心臓外科術前合同カンファ	0						

③⑬東葛クリニック病院

住 所：〒271-0067 千葉県松戸市樋野口 865-2 TEL：047-364-5121

URL：<https://www.tokatsu-clinic.jp>

週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:15~9:00	症例検討会		○					
9:00~12:30	外来、病棟業務	○	○	○	○	○	○	休
13:30~17:30	手術	○	○	○	○	○	○	休

③④大和成和病院

住 所：〒242-0006 神奈川県大和市南林間 9-8-2 T E L：046-278-3855

U R L：www.fureai-g.or.jp/seiwa/

週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:00-	朝カンファレンス	○	○	○	○	○	○	
8:00-10:00	病棟業務	○	○	○	○	○	○	
10:00-12:00	午前外来	○	○	○	○	○	○	
9:00-	手術	○	○	○	○	○	○	
17:00-	総回診	○	○	○	○	○	○	

③⑤福山循環器病院

住 所：〒242-0006 神奈川県大和市南林間 9-8-2 T E L：046-278-3855

U R L：www.fchmed.jp

週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
7:45-8:30	循環器内科・心臓血管外科合同カンファレンス	○	○	○	○	○		
8:30-9:30	回診	○	○	○	○	○		
10:00-	手術	○		○		○		
13:30-	手術		○		○			
9:00-12:30	午前外来		○		○			
13:30-	午後外来(不定期)	○	○	○	○	○		
17:00	心臓血管外科カンファレンス	○	○	○	○	○		

③⑥岐阜県総合医療センター

住 所：〒500-8717 岐阜県岐阜市野一色 4-6-1 T E L：046-278-3855

U R L：www.fureai-g.or.jp/seiwa/

週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:20-8:30	朝ミーティング				○			
8:00-8:20	退院症例カンファランス				○			
8:00-17:30	病棟業務	○	○	○	○	○		
8:30-13:00	外来	○	○	○	○	○		
9:00-	手術	○	○	○	○	○		
13:30-14:30	総回診	○						
14:30-16:30	術前術後カンファランス	○						
18:00-19:00	消化器内科合同カンファランス			○				

③⑦さいたま市立病院

住 所：〒336-8522 埼玉県さいたま市緑区三室 2460 番地 T E L：048-873-4111

U R L：www.fureai-g.or.jp/seiwa/

週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
9:15~9:30	回診前カンファランス	○	○	○	○	○	○	○

9:30～10:30	病棟回診	○	○	○	○	○	○	○
9:00～17:00	手術	○	○	○	○	○		
9:00～12:00	X線検査				○			
9:00～12:00	上部消化管内視鏡検査					○		
(火)9:00～12:00 (木)13:00～17:00	下部消化管内視鏡検査		○		○			
7:45～8:30	勉強会 抄読会					○		
17:00～18:00	消化器カンファレンス	○						
17:00～19:00	術前・術後カンファレンス			○				

⑳長野県立こども病院

住 所：〒399-8288 長野県安曇野市豊科 3100 TEL：0263-73-6700

URL：nagano-child.jp/

週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
9:15～9:30	回診前カンファレンス	○	○	○	○	○	○	○
9:30～10:30	病棟回診	○	○	○	○	○	○	○
9:00～17:00	手術	○	○	○	○	○		
9:00～12:00	X線検査				○			
9:00～12:00	上部消化管内視鏡検査					○		
(火)9:00～12:00 (木)13:00～17:00	下部消化管内視鏡検査		○		○			
7:45～8:30	勉強会 抄読会					○		
17:00～18:00	消化器カンファレンス	○						
17:00～19:00	術前・術後カンファレンス			○				

㉑宇治徳州会病院

住 所：〒611-0041 京都府宇治市槇島町石橋 145 番地 TEL：0774-20-1111

URL：www.ujitoku.or.jp/index.html

週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:30-9:00	抄読会, 勉強会							
8:30-9:00	朝カンファレンス	○	○	○	○	○		
9:00-11:00	病棟業務	○	○	○	○	○	○	
9:00-12:00	午前外来	○	○	○	○	○	○	
17:30-19:30	夕方外来	○	○	○	○	○		
9:00-	手術	○	○	○		○		
9:00-10:00	病棟回診	○	○	○	○	○	○	○
15:00-17:00	放射線科, 病理合同カンファレンス				○			
17:00-17:30	化学療法カンファレンス				○			